

「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」を活かして
福祉避難所・高齢者施設等に「アイ・ドラゴン4」を設置してください
障害者差別解消法 ==4月1日から事業者も合理的配慮の提供が義務化されました==

「アイ・ドラゴン 4」普及の取り組み

■石川県

石川県聴覚障害者センターの藤平施設長に当機構の事務局が同行して石川県下の全市町村を訪問し、「アイ・ドラゴン 4」の設置要望書を提出しました。



能見市



加賀市

■東京都

世田谷区立烏山図書館「手話にまつわるお話と対談」(唯藤節子さんと小川光彦さん) イベントで「アイ・ドラゴン4」のチラシを配布していただきました。

ご当地の役所に「アイ・ドラゴン4」設置要望書を提出してください。また、地元のイベントで「アイ・ドラゴン4」をご紹介ください。

■愛知県

愛知県福祉局福祉部障害福祉部の主催で「市町村職員向け避難所コミュニケーションセミナー」が開催されました。

愛知県聴覚障害者協会事務局長兼事務局長の中村貴恵さん、「AJU 自立の家」の水谷真さん、愛知県盲人福祉連合会の古谷千恵美さんらの講演や当機構の「アイ・ドラゴン 4」ご紹介、長久手市役所の「避難所への「アイ・ドラゴン 4」配備について」の話など、過去の大災害で被災した障害者の実際に学びつつ、視覚障害、聴覚障害、知的障害、発達障害など障害特性や支援方法についても学びました。



「アイ・ドラゴン4」の機能

- 災害時に手話言語で緊急災害放送を見る
- 「目で聴くテレビ」が収集した災害時情報をオリジナル番組で見る
(全国の聴覚障害者情報提供施設と協力)
- 「リアルタイム手話・字幕放送」を見る
(情報通信研究機構(NICT)助成事業)
- 2,500本超**の手話番組アーカイブを24時間いつでも見られる



認定特定非営利活動法人障害者放送通信機構は、文化庁からリアルタイム字幕配信事業者の指定を受けています

聴覚障害者用情報受信装置
「アイ・ドラゴン4」(日常生活用具)

自分が助かる！誰かも助ける！
「防災体験会」をおすすめします

障害者放送通信機構は、全国の都道府県・市町村に対して福祉避難所で「アイ・ドラゴン4」を活用し「防災体験会」を定期的に行っていただくよう要望しています。

防災体験会の例

- 個別避難計画(マイ・タイムライン)の作成
- 万一の場合に自分と家族が行くべき避難所の確認
- 自分が助けることができる人・一緒に避難できる人は誰かについて話し合う
- 非常時持ち出しリュックの中身を披露し合う
- 停電時にスマホを充電する方法を学ぶ
- 「アイ・ドラゴン 4」で「目で聴くテレビ」の防災動画を見て基本的な防災減災の知識を得る

「アイ・ドラゴン4」は、きこえない・きこえにくい方の日常生活用具としてご利用いただけることはもちろん、緊急災害時にはすべての人に必要な情報をお届けする**情報アクセシビリティ対応機器**です。